

からたち



第47号
新春
2021.1

- p.2 新年のご挨拶
- p.3 部署紹介（地域医療連携室）
- p.4 体を温めてくれる食事のポイント
- p.5 ヒートショックにご注意を
- p.6 病院からのお知らせ 感染症対策のお願い
- p.7 病院からのお知らせ 顔認識体温測定装置の導入
- p.7 着任医師紹介・退職医師紹介



「漁師さんの船出」（撮影地 柳川市大和町） 撮影者／地域医療連携室 看護師 北島 尚子

地域から親しまれ、信頼される病院を目指します

- ❑ 患者さんに良質で安心な医療を提供します
- ❑ 医学・医療技術の研鑽に努め、最新の医療を提供します
- ❑ 地域福祉の向上と、疾病予防策を実践します
- ❑ 風通しの良い、明るく働きがいのある健全な職場を目指します



令和3年 新年のご挨拶



理事長 馬場崎 紀文



明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃より柳川病院の運営に際しまして、地域の皆様、地元医師会をはじめとする医療機関、行政機関並びに各関係機関の皆様には多大なるご支援を賜り心より御礼申し上げます。

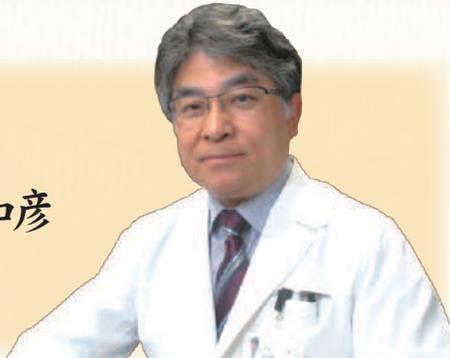
昨年は、世界中が“コロナで始まりコロナで終わった1年”となりました。新型コロナウイルス感染者数は一旦、減少が見られたものの、冬になって増加の一途をたどっており、残念ながら未だ終息の目途が付かない状況です。

日常の風景も一遍し、新たな生活様式への変革を余儀なくされることで健康を維持することも非常に難しくなっておりますが、柳川病院は『地域に親しまれ信頼される病院を目指します』という基本理念のもと、地域医療を守り柳川地域の皆様が安心して通院いただけるよう、引き続き急性期を中心とした医療機能を堅持して参る所存です。

今後も、福岡県や柳川市との連携を密にし、関係機関の皆様にご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、この状況が一日でも早く終息へ向かいますことと、皆様のご健康を祈念し、新年のご挨拶といたします。

院長 於保 和彦



新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたりご挨拶申し上げます。

2020年は人類の歴史に深い傷が刻まれた一年になりました。新型コロナウイルス感染症は中国武漢に始まり、瞬間に全世界へと広がりました。オリンピックをはじめとする様々な行事が延期や中止を余儀なくされ、緊急事態宣言という、まるで戦時下のような異常事態となり、社会が混乱に陥りました。医療機関にとってもコロナウイルス対策に明け暮れた1年でした。私が会長を務めました第27回日本門脈圧亢進症学会総会も福岡市での開催を諦め、Webでの開催とせざるを得ませんでした。この記事を書いている時点では第3波が収まる気配はなく、2021年も新型コロナウイルスとの戦いは続きます。また地球温暖化の影響が疑われるかつて経験したことがない豪雨や大型台風が容赦なく人々の日常を襲いました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症によるそれ以外の医

療への影響が懸念されています。米国や欧州からの論文では、パンデミック前後で比較すると狭心症、心筋梗塞、肺炎、脳梗塞など様々な疾患で入院される患者さんが軒並み減っており、また癌と診断される患者さんの数も減っていると報告されています。疾患は一定の割合で発生しますので、この現象は新型コロナウイルスに感染することを恐れ医療機関への受診を控えることが影響していると思われます。今後持病が悪化したり、癌が進行して見つかったりすることが多くなるのではないかと懸念されています。柳川病院では万全の感染対策をとっておりますので安心して受診していただきたいと思っております。

今春にはワクチン接種が始まるとのことですが、感染が終息に向かうとされる集団免疫60%に達するまでにはもうしばらく時間がかかりそうです。すでに医療は逼迫しています。コロナに感染しない、感染させないためにマスクの着用、手洗いの励行、3密を避ける、といった行動を我慢強く続けていかねばなりません。本当につらい年明けですが、夜明けが来ない夜はありません。我々人類はコロナ禍から様々なことを学びました。コロナ後にはきっとより良き未来が待っており、2021年がその記念すべき年になると信じております。

本年も柳川病院は“地域の皆様に親しまれ、信頼される病院”を目指し、職員一同努力してまいりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、2021年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。



Y A N A G A W A H O S P I T A L

部署紹介

地域医療連携室



地域医療連携室について

地域医療連携室は、患者さんに関する地域の医療機関や保健・福祉機関と緊密に連携するための患者相談窓口です。医療連携とは、地域にある医療機関や施設がそれぞれの機能を活かし患者さんが必要とする治療やリハビリ、療養、介護を受けられるよう連携する医療体制のことをいいます。看護師が受診相談をお受けするほか相談員（MSW）が、外来・入院中の患者さん、ご家族からの社会資源の活用、介護保険に関する相談などをお受けしています。

柳川病院ではご紹介が円滑にできるように地域の先生方と連携を行い、より詳しい検査、治療の提供、病状の安定した方には「かかりつけ医」のご紹介などを行っています。また大きく3つに分けて下記の相談、支援を行っています。

① 医療連携業務

- ・患者さんからの電話、受付での受診科相談
- ・他医療機関からの外来紹介、入院依頼の対応
- ・紹介患者さんの受診、入退院に応じた紹介元医療機関へのご報告
- ・セカンドオピニオン外来受付



② 患者支援業務

- ・退院後の在宅医療、介護に関するご相談
- ・転院に関するご相談、連絡調整
- ・退院後の施設入所に関するご相談
- ・治療、療養中の生活相談、経済的な相談、社会保障制度など
- ・その他、患者様・ご家族様が抱える社会的・心理的・経済的な問題に関するご相談など



③ 広報業務

- ・市民公開講座や公民館等における講演活動

柳川病院 地域医療連携室 ☎ 0944-74-8145

受付時間（祝日・年末年始除く）：月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
土曜日 8時30分～12時30分

※ 時間外でも可能な限り対応しますのでご相談ください

体を温めてくれる食事のポイント

あけましておめでとうございます。

体調が崩れやすい寒い日が続いています。

今回、寒い冬におススメの身体を温めてくれる食材や食事のポイントについて紹介します。

毎日の食事に取り入れて、寒さに負けない身体作りしましょう。



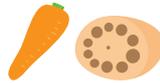
1、身体を温める食材について

特徴

- ・寒いところで収穫される
- ・冬が旬の食材
- ・土の中で育つもの
- ・黒っぽい物、色が濃い物
- ・発酵食品

野菜類

- ・人参、かぼちゃ
- ・レンコン、大根、ゴボウ
- ・白菜
- ・ニラ、ねぎ



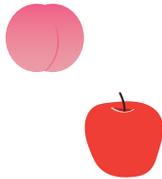
穀類

- ・玄米
- ・そば



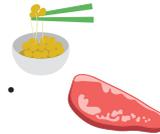
果物

- ・栗
- ・桃
- ・プルーン
- ・リンゴ



肉類・魚介類、豆類

- ・納豆、豆類
- ・チーズ
- ・羊肉・牛肉・鹿肉・鶏肉
- ・マグロ、さんま、さけ



その他

- ・生姜、にんにく、シナモン
- ・紅茶、ウーロン茶、ココア



温めてくれる特徴や食材は表のとおりです。温かい食べ物を食べることで血流がよくなり身体もポカポカになります。次のポイントの調理の工夫も参考にしてみましょう。



2、身体を温める調理のポイント

① 加熱（煮る・蒸す・焼く・揚げる）する！

→生野菜は温野菜へ調理法を変えるなど、温かい食べ物・飲み物を摂るようにしましょう。

② とろみをつけ、温かいうちに！！

温かいうちに食べられるように片栗粉でとろみをつけて『あんかけ』のようにすることで、料理が冷めにくくなります。



③ 気軽にとれるホットドリンクを飲む！

- ・発酵茶（ウーロン茶、プーアール茶）などは身体を温める作用があるといわれています。
- ・生姜湯：体を温める血行促進・血流改善に作用するといわれています。
生の生姜でなく、乾燥された生姜や加熱して利用しましょう。
- ・ココア：血管を拡張する作用があるといわれており、血行を促し、体を温める作用が期待できます。
砂糖は身体を冷やすといわれているので、純ココアがおすすめ。



お好みで生姜やシナモンなどをプラスするのも GOOD♪

ヒートショックにご注意を

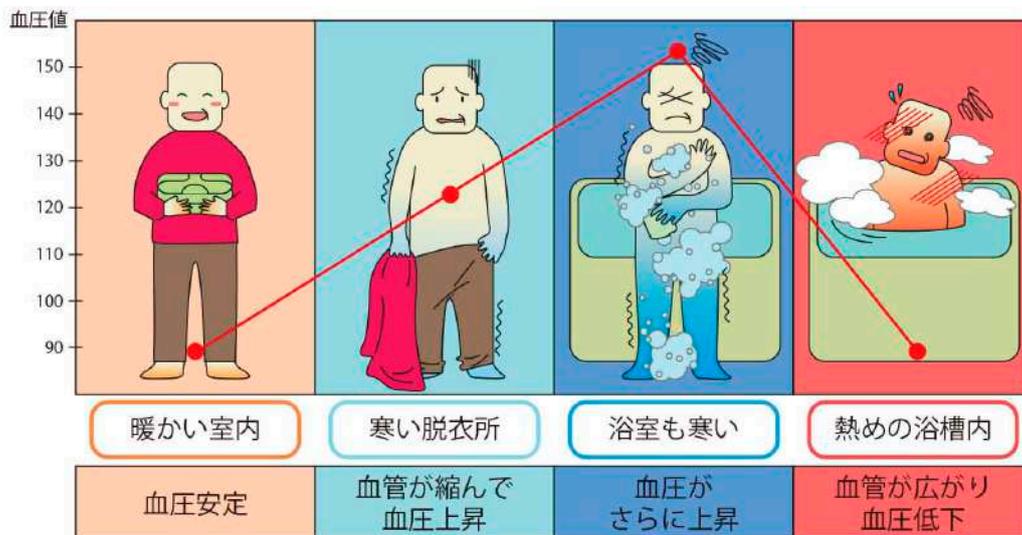


◆ ヒートショックとは

寒い場所から暖かい場所へ、暖かい場所から寒い場所へ移動するなど、急激な温度変化に影響を受けて、血圧が急上昇・急低下することによって生じる健康障害のことです。

◆ ヒートショックが起きやすい場所

ヒートショックは、温度差が大きくなりやすい冬場に多く起こります。暖かい部屋から冷え込んだトイレ・洗面所・浴室などに移動したときに起こりやすくなります。



◆ ヒートショックによる症状

- 血圧の急上昇によって起こりやすい症状 心筋梗塞、致命的な不整脈、脳梗塞や脳出血
- 血圧の急降下によって起こりやすい症状 めまいやふらつき、意識を失い、転倒や溺水する危険性

◆ ヒートショックに特に注意すべき人

- 65歳以上（特に75歳以上）
- 以下の病歴がある
 - ・ 狭心症、心筋梗塞、脳出血、脳梗塞
- 以下の持病がある
 - ・ 不整脈、高血圧、糖尿病
- 以下の習慣がある
 - ・ 飲酒直後に入浴する
 - ・ 食直後に入浴する
 - ・ 薬を飲んだ直後に入浴する
 - ・ 一番風呂
 - ・ 深夜に入浴
 - ・ 熱い湯（42℃以上）に、首まで長くつかる
- 以下のような居住空間である
 - ・ 浴室・脱衣所・トイレに暖房設備がなく、冬場は寒い
 - ・ 浴室がタイル張りで窓があり、冬場は寒い
 - ・ 居間と浴室、トイレが離れている



◆ ヒートショックを防ぐには

脱衣所や浴室、トイレを暖かくして温度差をなくすことでヒートショックは予防できます。

■ 入浴時の注意点

- ・ 入浴前に脱衣所を暖めておき、温度差をなくす
- ・ 浴室の蓋を開けておく、シャワーでお湯をためる（蒸気で浴室が暖まる）
- ・ 入浴前と入浴後に水分を補給する（脱水による血圧低下を防ぐ）
- ・ お酒を飲むなら入浴後に
- ・ 食後1時間以上開けてから入浴する（食後は血圧が低下しやすい）
- ・ 浴槽に入る前に手足からかけ湯をして、ゆっくり温める
- ・ 長湯をしない
- ・ 浴槽から急に立ち上がらない

■ トイレでの注意点

- ・ 暖房器具をおく
- ・ いきみすぎない

感染症対策のお願い

入館時



問診・検温
を行います



手指消毒
をお願いします



マスク着用
をお願いします

待合室



(混雑状況にもよりますが)
**間隔をあけて
お座りください**



**必要以外の会話は
極力お控えください**

会計時



**間隔を空けて
お並びください**



金銭の受渡しは
**トレイ上で
行っています**

顔認識体温測定装置の導入



11月25日（水）より、北側玄関に顔認識体温測定装置を導入しました。体温測定とマスクの着用チェックを行います。体温が 37.3℃以上の場合とマスクをしていない場合、警告メッセージが鳴ります。入館の際は体温測定、マスク着用を引き続きご協力よろしくお願いいたします。



着任医師紹介

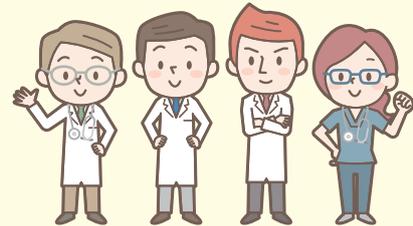


外科
おおち たかふみ
大地 貴史

出身地：大分県佐伯市
趣味：つり、アウトドア
資格：日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医・
消化器がん外科治療認定医
日本大腸肛門病学会専門医
日本がん治療認定医

大腸外科を中心に、消化器・一般外科を専門としています。低侵襲で過不足のない手術を目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。

循環器内科
やまもと まき
山本 麻紀
非常勤（金曜）



退職医師紹介



外科
きべ しろう
岐部 史郎
常勤

循環器内科
やまもと みき
山元 美季
非常勤



外来診療担当医一覧表

2021年1月1日現在

受付時間

(日・祭日は休診)

午前 8:30 ~ 11:00
 午後 13:00 ~ 16:00 [血液内科 (木)]
 13:30 ~ 16:00 [脳神経外科 (金)]
 13:30 ~ 15:30 [産婦人科 (水)]

※急患については、この限りではありません。

※都合により診察日・時間に変更になる場合がございます。確認のうえ来院ください。

※お問合せの電話については、急ぎの用件を除いては、午後からのお電話にご協力お願い致します。

※「担当医」の表記については当該診療科の当番医が診察・診療を行います。

外来担当医表		月	火	水	木	金	土
内科 消化器内科	午前	新患 於保 和彦	江田 誠	大野 美紀	菅 偉哉	森山 悦子	担当医
	午後	再来 菅 偉哉 森山 悦子	菅 偉哉 大野 美紀	於保 和彦 森山 悦子	江田 誠	於保 和彦 大野 美紀	江田 誠
血液内科	午後				大屋 周期		
肝臓外来 (第2・3土曜日)	午前	(下記※1参照)					佐野 有哉
ピロリ菌外来 (第1・3月曜日)	午後	(下記※1参照)	於保 和彦				
内分泌代謝内科 甲状腺外来 糖尿病外来	午前	新患・再来		後藤 由佳		永山 綾子	廣松 雄治
	午後	再来(予約)		後藤 由佳		永山 綾子	
循環器内科	午前	新患 担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	再来	松本 徳昭	野原 夢	吉岡 励	山本 麻紀	(急患のみ)
心臓血管外科	午前		土井 一義		土井 一義		
外科 消化器外科 肛門外科 乳腺外科	午前	新患・再来	貝原 淳	大地 貴史	貝原 淳	内田 祐良	貝原 淳
	午後	再来					大地 貴史
整形外科	午前	新患・再来	野崎 修	伊藤 康志	伊藤 康志	野崎 修	野崎 修 (第1.3.5)
	午後	新患	伊藤 康志	野崎 修		伊藤 康志 (第2.4)	伊藤 康志 (第1.3.5)
産婦人科	午前	新患・再来	嘉村 敏治	嘉村 敏治		嘉村 敏治	嘉村 敏治
	午後	新患・再来			寺田 貴武		担当医(第2)
皮膚科	午前		辛島 正志	辛島 正志	休診	辛島 正志	辛島 正志
泌尿器科	午前			黒瀬 浩文		植田 浩介	西原 聖顕
脳神経外科	午前	新患・再来	江橋 諒	江橋 諒	江橋 諒	休診	江橋 諒 (第2.3.4.5)
	午後	新患・再来					緒方 敦之
健診センター	午前		喜多 奈穂	喜多 奈穂	岩本 元一	喜多 奈穂	喜多 奈穂
検査担当医表		月	火	水	木	金	土
放射線科	午後			小金丸 雅道			
専門エコー外来	午後					黒松 亮子	
内視鏡検査	(下記※2参照)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
		向笠 道太	池原 龍一郎	城野 智毅	渡辺 靖友		

※1 ご希望の場合は、詳しい診療内容をお問合せください。

※2 内視鏡検査は原則消化器内科で診察のうえ検査実施となります。

柳川病院(代表) TEL 0944-72-6171

地域医療連携室 TEL 0944-74-8145 / FAX 0944-74-8165

柳川病院 患者会

柳川病院では、病院スタッフ(医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士)&柳川病院に通われている患者さんで「翠の会」という患者会を立ち上げています。

～翠(みどり)の会の募集案内～

【会 員】 60～80代の10名程度の方が在籍中
 【活動内容】 勉強会や料理教室、情報交換会、ウォーキング大会等。患者さんが日頃困っていることや悩み事の相談窓口ともなっています。また、会員の方は、月刊「糖尿病ライフさかえ」を毎月無料で読むことができます。
 【年会費】 3,600円(年度の途中入会の方…月払いとなります)

糖尿病の患者さん、糖尿病に関心のある人、どなたでも入会することができます。

【参加希望の方】
 柳川病院 翠の会事務局
TEL 0944-72-6171

皆さまのご入会お待ちしております! (森)まで